

研修機関が公表すべき情報の内訳

研修機関情報	法人情報	名称	公益社団法人留萌地域人材開発センター運営協会
		住所	北海道留萌市南町1丁目17番地
		代表者名	会長 対馬 健一
		研修事業担当理事	専務理事 鈴木 鉄男
		役員	別紙「役員名簿」のとおり
		事業概要	別紙「事業計画」のとおり
		法人財務情報	別紙「収支予算」「財産目録」「収支計算書」のとおり
	研修機関情報	事業所名称	公益社団法人留萌地域人材開発センター運営協会
		理念	地域における中小企業労働者・地域住民の能力開発を通じ、人々の職業生活がより豊かになること、地域経済社会がより健全な発展をすることを目指す。
		学則	添付2号様式「学則」参照
研修施設・設備		留萌地域人材開発センター 学科用研修室・実技用研修室ほか	
研修事業情報	研修の概要		介護職員初任者研修
		形式	通信
		受講対象	一般・健康な方 管内高校生
		研修スケジュール	平成30年9月29日～12月1日（土、日）
		定員	20名
		指導員者数	25名
		研修受講までの流れ （募集、申込）	募集期間 平成30年8月1日～9月10日
		費用	一般 65,000円 センター会員及び高校生 60,000円
		留意事項・特徴、受講者へのメッセージ等	介護職に現在従事、または介護職を目指す方へ土日を利用したスクーリング形式の研修です。
	課程責任者	課程編成責任者	桜井 匠
	研修カリキュラム①②	科目別シラバス	学則 別紙1カリキュラム（通信）参照
		科目別時間数	
		科目別担当教官	添付3号様式「講師一覧」参照
		科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間	学則 別紙1カリキュラム（通信）参照 添付8号様式「添削指導及び面接指導の指導方法書」参照
通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題		添付8号様式「添削指導及び面接指導の指導方法書」参照	
修了評価	添付2号様式「学則」7修了認定(2)成績の評定方法のとおり		
実習施設	添付5号様式「実習施設一覧」のとおり		
講師情報	添付3号様式「講師一覧」参照		

実績情報	過去の研修実施回数/ 延べ人数 (24年度までは訪問介護員養成 研修分)	平成24年度	4回	74人
		平成25年度	2回	18人
		平成26年度	1回	10人
		平成27年度	2回	31人
		平成28年度	1回	13人
連絡先等	申込先・資料請求先	公益社団法人留萌地域人材開発センター運営協会 〒077-0014 留萌市南町1丁目17番地 TEL 0164-42-0348 FAX 0164-42-3973		
	法人・事業所の苦情対 応者名	公益社団法人留萌地域人材開発センター運営協会 専務理事 鈴木 鉄男		

公益社団法人留萌地域人材開発センター運営協会
介護職員初任者研修事業

学 則

1 研修の目的

介護業務に従事する介護員の養成を図り、介護職に従事する者及びそれを希望する者への知識と技術の付与、高齢化社会への対応及び求職者の就職促進の一助を目的とする。

2 研修の名称

研修の形式により、次のとおりとする。

- ・介護職員初任者研修（通信）（一部通信制によるもの 以下「通信」）

3 研修の要旨

形式	事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者
通信	留萌市	一部通信 昼間	8ヶ月	3ヶ月	20名	65,000円 (センター会員及び管内 高校生は60,000円)	一般 管内高校生

4 受講手続

(1) 募集時期

講座開講日の概ね3ヶ月前とする。

(2) 受講料納入方法

原則申込締切日までに納入する。

ただし、やむを得ない事情により締切日までに納入することができない場合には、研修期間内において後納を認める。

(3) 受講料返還方法

申込締切後の受講料は返還しないこととする。

ただし、講座開催が中止となった場合は全額返還する。

5 カリキュラム

学則別紙1（通信）のとおりとする。

6 主要テキスト

介護職員初任者研修テキスト（株）QOLサービス 発行

7 修了認定

(1) 出欠の確認方法

各講習日登校時に、受講者本人の署名により出欠確認を行う。

(2) 成績の評定方法

「こころとからだのしくみと生活支援技術」では、介護技術の習得状況を各講師が介護技術の習得状況を各講師がA B C Dの4区分によって評価をする。(A:的確に習得している、B:概ね習得している、C:やや習得している、D:理解不足である。) D評価の場合は、補講を実施し再評価する。

(3) 修了の認定方法

研修教科のすべてに出席しなければならない。但し、欠席した教科について講義はレポート提出、実技においては当該講師の補講を受け出席とみなす。

「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、各項目の評価がA B Cのいずれかの評価を得ている者が修了時の筆記試験を受けることができる。

修了時の筆記試験は、100点満点中60点以上の者を合格とする。60点に満たない者については、再度筆記試験を実施する。

(4) 修了証明書

修了が認定されたものには、学則別紙2の修了証明書を交付する。

8 補講の取扱い

やむを得ない理由により欠席した時間等については次のとおりとする。

学科については当該教科の担当講師指示によるレポート提出にて出席を満たすとする。

実技については当該講師の補講を実施し出席と認める。ただし、一科目2,000円を自己負担とする。

9 退学規定

(1) 受講者が退学しようとする時は、所定の退学届を提出すること。

(2) 受講者が次の要件に該当するときは、退学を命ずることがある。この場合の通知は書面によるものとする。

・当協会の定める諸規定を守らず、又は次の行為に該当する場合。

ア 性行不良で改善の見込みがないと認められるとき。

イ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき。

ウ 正当な理由がなくして出席が常でない者。

エ 研修の秩序を乱している者。

オ 通学における出席状況が全体の80%未満であるもので、修了の見込みがないと認められる者。

10 講師

添付3号様式「講師一覧」のとおりとし、一講師6項目を限度として講義を行う。

11 実習施設

添付5号様式「実習施設一覧」のとおりとする。

12 通信形式の実施方法

(1) 学習方法

自宅学習課題を提出期限までに提出することとする。ただし合格評価に達しない場合には、合格評価に達するまで再提出を求める。

(2) 評価方法

自宅学習課題については、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が A・B・C・D の評価を行い、C 以上を合格とする。

13 その他

この学則は、平成 25 年 12 月 19 日から施行する。

この学則は、平成 27 年 5 月 18 日から施行する。

この学則は、平成 28 年 5 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 30 年 7 月 1 日から施行する。

介護職員初任者研修カリキュラム（通信）

科目別シラバス

1. 職務の理解（スクーリング6時間）

ね ら い	研修に先立ち、これから介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
内 容	1. 多様なサービスの理解 2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解

2. 介護における尊厳の保持・自立支援（スクーリング1.5時間 添削7.5時間）

ね ら い	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。
内 容	1. 人権と尊厳を支える介護 （1）人権と尊厳の保持（2）ICF（3）QOL（4）ノーマライゼーション （5）虐待防止・身体拘束禁止（6）個人の権利を守る制度の概要 2. 自立に向けた介護 （1）自立支援 （2）介護予防

3. 介護の基本（スクーリング3時間 添削3時間）

ね ら い	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。
内 容	1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携 （1）介護環境の特徴の理解（2）介護の専門性（3）介護に関わる職種 2. 介護職の職業倫理 職業倫理 3. 介護における安全の確保とリスクマネジメント （1）介護における安全の確保（2）事故予防、安全対策（3）感染対策 4. 介護職の安全 介護職の心身の健康管理

4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（スクーリング1. 5時間 添削7. 5時間）

ね ら い	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。
内 容	<p>1. 介護保険制度</p> <p>(1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向</p> <p>(2) 仕組みの基礎的理解</p> <p>(3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割</p> <p>2. 医療との連携とリハビリテーション</p> <p>3. 障害者総合支援制度およびその他制度</p> <p>(1) 障害者福祉制度の理念</p> <p>(2) 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解</p> <p>(3) 個人の権利を守る制度の概要</p>

5. 介護におけるコミュニケーション技術（スクーリング3時間 添削3時間）

ね ら い	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解している。
内 容	<p>1. 介護におけるコミュニケーション</p> <p>(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</p> <p>(2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション</p> <p>(3) 利用者、家族とのコミュニケーションの実際</p> <p>(4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <p>2. 介護におけるチームのコミュニケーション</p> <p>(1) 記録における情報の共有化 (2) 報告</p> <p>(3) コミュニケーションを促す環境</p>

6. 老化の理解（スクーリング3時間 添削3時間）

ね ら い	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。
内 容	<p>1. 老化に伴うこころとからだの変化と日常</p> <p>(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</p> <p>(2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</p> <p>2. 高齢者と健康</p> <p>(1) 高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <p>(2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</p>

7. 認知症の理解（スクーリング3時間 添削3時間）

ねらい	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念 2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 3. 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 (2) 認知症の利用者への対応 4. 家族への支援

8. 障害の理解（スクーリング1.5時間 添削1.5時間）

ねらい	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の基礎的理解 <ol style="list-style-type: none"> (1) 障害の概念とICF (2) 障害者福祉の基本理念 2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 <ol style="list-style-type: none"> (1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む） (4) その他の心身の機能障害 3. 家族の心理、かかわり支援の理解 家族への支援

9. こころとからだのしくみと生活支援技術（スクーリング6.3時間 添削1.2時間）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。
内容	<p>< I. 基本知識の学習・・・10～13時間程度 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の基本的な考え方 2. 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解

内 容	<Ⅱ. 生活支援技術の学習・・・50～55時間程度>
	4. 生活と家事
	5. 快適な居住環境整備と介護 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
	6. 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 整容に関する基礎知識、整容の支援技術
	7. 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援
	8. 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援
	9. 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
	10. 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
	11. 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
	12. 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への課程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援
	<Ⅲ. 生活支援技術演習・・・10～12時間程度>
	13. 介護課程の基礎的理解
	14. 総合生活支援技術演習

10. 振り返り（スクーリング4時間）

ねらい	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
内 容	1. 振り返り 2. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修

講師一覧

※介護職員養成研修 2 級課程講師は平成 25 年 6 月より、介護職員初任者研修講師に移行

氏名	担当科目(項目)	資格名	専業兼	経歴等
田中 卓	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・総合生活支援技術演習 ・就業への備えと研修終了後における継続的な研修 ・振り返り 	介護支援専門員	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護員を経て、デイサービスセンター、有料老人ホーム、高齢者住宅、重度訪問介護居支援等、管内で幅広く事業を経営に携わる。 ・平成 27 年より、当センター介護職員初任者研修講師 現職：介護施設事業所役員
福岡 雅文	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の職業倫理 ・介護における安全の確保とリスクマネジメント ・介護職の安全 ・総合生活支援技術演習 ・人権と尊厳を支える介護 ・自立に向けた介護 	介護福祉士 介護支援専門員	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士・介護支援相談員として長年業務に従事 ・平成 27 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設勤務
松下 悦子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション ・高齢者と健康 ・家族への支援 ・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・老化に伴うところとからだの変化と日常 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師として、長年病院勤務 ・平成 13 年より、当センターにて介護職員養成研修 2 級課程講師※現在に至る 現職：一般企業役員
石川 哲哉	<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携とリハビリテーション 	理学療法士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士として、長年病院に勤務 ・平成 13 年より、当センターにて介護職員養成研修 2 級課程講師※現在に至る 現職：病院勤務
長尾 佳子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に関するところのしくみの基礎的理解 ・介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・快適な居住環境整備と介護 ・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師として、長年病院勤務。現在市内の介護サポートグループの代表を務める。 ・平成 18 年より、当センターにて介護職員養成研修 2 級課程講師※現在に至る 現職：介護関連講師等
貝森 凉子	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を取り巻く状況 ・認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 ・医学的側面からみた認知症の基礎と健康 ・家族への支援 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師として、長年病院勤務。現在市内の介護サポートグループに所属 ・平成 21 年より、当センターにて介護職員養成研修 2 級課程講師※現在に至る 現職：介護関連講師等

曾我部 栄希	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けた介護 ・介護保険制度 ・障害者総合支援制度及びその他制度 ・家族の心理、かかわり支援の理解 ・人権と尊厳を支える介護 ・介護職の役割、専門性と多職種との連携 	社会福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士資格取得後、長年相談援助業務等に従事 ・平成 19 年より、当センターにて介護職員養成研修 3 級課程講師※現在に至る 現職：行政職
上川原 豊美	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるチームのコミュニケーション ・就業への備えと研修終了後における継続的な研修 ・家族心理、かかわり支援の理解 ・介護職の安全(控) 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得後、長年介護施設にて、介護職業務に従事 平成 25 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設勤務
吉田 由起子	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けた介護 ・人権と尊厳を支える介護 ・介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント ・総合生活支技術演習 ・振り返り 	看護師		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、保健婦として病院及び行政に勤務。現在介護施設の看護師として勤務 ・平成 27 年より当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る
佐藤 佳緒里	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への支援 	介護福祉士 認知症対応型サービス事業管理者	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得を経て、介護職へ長年従事し、その後、認知症・障害者施設に勤務し、現在共生型グループホームの施設長を務める。 ・平成 27 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設施設長
柴田 春夫	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるチームのコミュニケーション ・老化に伴うことと体の変化と日常 ・介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・整容に関することとからだのしくみと自立に向けた介護 ・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 ・排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成 27 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務
金森 千尋	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援制度およびその他制度 ・介護保険制度 ・介護職の安全 ・生活と家事 ・介護課程の基礎的知識 ・振り返り 	介護支援専門員	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員として介護施設に長年従事 ・平成 27 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師居 現職：居宅介護事業所勤務
山田 静江	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の基礎的理解(控)・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解(控)・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(控)・家族への支援(控) 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師として、長年病院勤務。現在市内の介護サポートグループに所属・平成 26 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る現職：介護関連講師等
廣島 和子	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境と介護 ・介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・死にゆく人に関連したこととからだのしくみと終末期介護 ・介護に関することとからだのしくみの基礎的理解 ・介護過程の基礎的理解 ・介護の基本的な考え方 	介護支援専門員	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員として市内の施設に勤務 ・平成 27 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設勤務

佐々木 哲平	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度 ・障害者総合支援制度およびその他制度 ・認知症を取り巻く状況 ・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 	ホームヘルパー1級 ホームヘルパー2級 介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護員を経て、住宅型老人ホーム、高齢者住宅、居宅介護支援事業所の経営に携わる ・平成27年より、当センター介護職員初任者研修講師 現職：介護施設事業所役員
工藤諭史	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なサービスの理解 ・介護職の仕事内容や働く現場の理解 ・人権と尊厳を支える介護 ・介護職の役割、専門性と多職種との連携 ・介護におけるチームのコミュニケーション ・老化に伴うこととからだの変化と日常 	介護支援専門員	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員として市内の施設に施設長として勤務 ・平成27年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設管理者
宇野輝和	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援制度及びその他制度 	社会福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の福祉部門に勤務後、介護支援施設に勤務 ・平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設勤務
若林倫江	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を取り巻く状況 ・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 ・介護に関する体の仕組みの基礎的理解 ・生活と家事 ・総合生活支援技術演習 ・振り返り 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士として市内の施設に長期にわたり勤務 ・平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：介護施設管理者
木村暁人	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の連携とリハビリテーション 	理学療法士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士として市内病院に勤務 ・平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現職：病院勤務
大橋友加里	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーション ・高齢者と健康 ・認知症を取り巻く状況 ・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 ・家族の心理、かかわり支援の理解 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師として長年勤務、現在健康相談員として法人に勤務 ・平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師
佐藤 公	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務
成澤ちづ子	<ul style="list-style-type: none"> ・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務
西村由香子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の基礎的理解 ・総合生活支援演習 ・就業への備えと研修終了後における継続的な研修 ・振り返り 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成28年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務

高嶋 成泰	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の連携とリハビリテーション ・移乗・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・快適な居住環境整備と介護 	理学療法士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ専門施設に勤務 平成 30 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：リハビリ専門施設理学療法士
遠藤 達也	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成 30 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務
本間 耕治	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・総合生活支援技術演習 ・振り返り ・就業への備えと研修終了後における積極的な介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成 30 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設管理者
真田 良美	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 	介護福祉士	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成 30 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設勤務
杉山 一絵	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・家族への支援 ・障害の基礎的理解 ・障害の医学的側面、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解 ・家族の心理、かかわり支援の理解 ・介護の基本的な考え方 	看護師	兼	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設に勤務 平成 30 年より、当センターにて介護職員初任者研修講師 現在に至る 現職：介護施設看護師

実習施設一覧

科目(項目)名 ・総合生活支援技術演習 ・振り返り

事業所の所在地 留萌市

承継書 番号	施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者	実習指導者	
						氏名	経験年数 主な資格名
1	特別養護老人ホーム 萌寿園	077-0037	留萌市沖見町6丁目18番6号	0164-43-2727	社会福祉法人 萌寿会	福岡 雅文	22年 介護福祉士
1	グループホーム 萌寿園	077-0037	留萌市沖見町6丁目18番6号	0164-43-2727	社会福祉法人 萌寿会	福岡 雅文	22年 介護福祉士
1	萌寿園デイ・サービス センター 萌寿園	077-0037	留萌市沖見町6丁目18番6号	0164-43-2727	社会福祉法人 萌寿会	福岡 雅文	22年 介護福祉士
3	介護老人保健施設 サンライズ留萌	077-0011	留萌市東雲町2丁目	0164-43-1195	医療法人 優仁会	西村 由香子	15年 介護福祉士
4	デイサービスセンター ファミリー	077-0007	留萌市栄町1丁目5番6号	0164-43-5600	株式会社 ファミリーケアサポート	田中 卓	17年 介護福祉士
4	サービス付き高齢者向け 住宅 ひかり	077-0007	留萌市栄町1丁目5番33号	0164-43-5650	株式会社 ファミリーケアサポート	田中 卓	17年 介護福祉士
5	サービス付き高齢者住宅 プラチナ館	077-0031	留萌市幸町3丁目8番1号	0164-56-1763	株式会社 コンフォート	佐々木 哲平	6年 介護福祉士
5	有料老人ホーム 元気100才	077-0222	増毛郡増毛町見晴町235番地3	0164-53-1183	株式会社 コンフォート	佐々木 哲平	6年 介護福祉士
6	介護付き有料老人ホーム さくら園まじけ	077-0225	増毛郡増毛町南署寒町9丁目105- 2	0164-53-1230	株式会社 ファミリーケアサポート	田中 卓	17年 介護福祉士

